

# やまなしの福祉

2022 No.365

夏  
SUMMER

〈P05〉 | 福祉人材センターからのお知らせ

〈P10〉 | 介護実習情報

〈P06〉 | 山梨県社会福祉協議会 第3次強化発展計画

〈P12〉 | 善意をありがとう ほか

〈P08〉 | 令和4年度事業計画



県内初「社会福祉HERO'S」  
プレゼンター・  
樋川真由佳さん登場



Special  
**特集**  
feature

走るダイバーシティ

地域と福祉をつなぐキッチンカー

— 和告学園の挑戦 —

# 特集

Special feature

## 走るダイバーシティ

## 地域と福祉をつなぐキッチンカー

### —和告学園の挑戦—



県内初「社会福祉HERO'S」  
プレゼンター・  
樋川真由佳さん登場



仕事・学校生活・旅行etc. コロナ禍で多くのことが制限されました。就労継続支援の現場でも同様に「仕事を」「やりがいを」「楽しみを」奪われてしまいました。そんな中、クラウドファンディングで新たに働く場所を見つけた事業所「和告学園」があります。今回は、その役割を担った樋川真由佳さんに経緯をお聞きしながら、活動が注目され、社会福祉の分野で活躍する若者を表彰する社会福祉HERO'Sのイベントに於いて、全国のヒーローズのプレゼンターとして登壇したときの様子もお届けします。

## 引き寄せられた福祉の世界

声楽家を目指して大学に通っていた樋川さんですが、音楽の世界には自分より優れた人が大勢いることを知り21歳のころ、大学を中退して山梨に戻ってきました。その後、アパレル業界に身をおいていたのですが、5年程前、転職先を探していたところ、友人に声を掛けていただき、今の職場を紹介していただきました。

それまで、障がいのある人と関わったこともなければ、就労支援という言葉も知りませんでしたが、ちょうどその頃、一人息子に発達遅れがあるかもしれないと判ったので「きっとこれも何かの縁で引き寄せられた」と感じ、誘いに即答したそうです。

和告学園は、社会福祉法人和告福祉会が運営する就労継続支援B型事業所です。精神障がいから長い入院のまま高齢者施設に入所された方や障がいを隠し続け自立することが困難だった方などを目のあたりにした施設長が、「ハンディキャップがあっても個性を生かして自立することができる施設を作りたい。」と思い立ち、事業所を立ち上げたそうです。また、料理好きだったことから、レストラン「Cafe Village」をオープンし、現在では、人と接することが好きな利用者さんや調理が好きな利用者さんなど8名が在籍しています。





「私にとって障がいは、その人の個性のひとつ」と笑顔で語る樋川さん



## キッチンカーはコロナ禍から生まれた新しい就労のカタチ

施設では、高齢者施設へのお弁当作りと配達、食器洗い、清掃などもしていましたが、コロナ禍で仕事が減り、「Cafe'Village」も閉店を余儀なくされました。「ここまで長引くとは思いませんでした。接客や調理をしたくて通ってくる利用者さんたちなので、カフェに代わるものがあったらいいねとスタッフたちと話していたんです。キッチンカーなら、密にならず対面で接客できるのでは？」と思い、その資金を集めるため、クラウドファンディングに挑戦してみることにしました。」とその時の様子を話してくれました。樋川さんは、コロナ禍で多くの方が苦しんでいる中、「クラウドファンディングを募っているのか？」という思いもありましたが、「利用者さんの生きがいややりがいを得ることができる場を大切にしたい。」と振り返ります。かくして

キッチンカープロジェクトは、多くの方の支援を受け、目標額を達成することができたのです。

キッチンカーでは、パンを中心としたメニューが並びます。覚えることが苦手な利用者さんもいるため、施設の利用者さんや地域の方に協力してもらい、何度も練習しました。キッチンカーの活動により、子ども食堂の食事を提供したり企業に出向くなど、活躍の場が少しずつではありますが広がっています。

「いろいろな場所に出向き、たくさんのお会いがあります。調理でお待たせしている間、利用者さんとお客様が会話することが増えました。そして、何よりも利用者さんが地域の方と接触する機会が増えたことや障がいという壁を作らずに接してくれる人が多いことが嬉しい。」と樋川さんは微笑みます。



ポタージュは季節によって変更になることも。地のものを丁寧に扱い、なるべく添加物を入れない安心・安全なメニュー構成



キッチンカーでは調理不可能な本格的ハンバーガーのテイクアウトをCafe'Villageで開始予定です(7月頃)



一番人気の「タコドック」は、ホットドックにオリジナルタコソースをたっぷりかけた一品。



オリジナルスパイスで仕込んだ、ヘルシーな「タンドリーチキン」



北杜市のフランクから仕入れたベーコンとパプリカに濃厚なパプリカソースが絡まって相性抜群の「ベーコンレアサンド」





社会福祉HERO'S TOKYO2021で、「福祉の仕事の醍醐味は」と質問された樋川さんは、「性別や年齢、障がいのあるなしに関わらず、みんなが1つのチームになれた時」と発表した

## 福祉の現場で活躍するヒーローたちが、熱き思いを伝える 「社会福祉HERO'S TOKYO2021」のプレゼンターに選出

全国社会福祉法人経営者協議会は、2022年3月15日に社会福祉の第一線で活躍する若手職員を表彰する全国大会を開催しました。樋川さんは、日本一の福祉人「社会福祉ヒーローズ」を決めるこの大会にプレゼンターとしてオンラインで参加しました。きっかけは施設長からの「どう？」の一言。「私でいいのかなという思いはありましたが、キッチンカーという題材を出さないわけにはいかない。」と樋川さんは語ります。

過去最多の58名が応募する中で、樋川さんは、3回の審査を通り、ファイナリスト6名の中に選ばれたのです。他のファイナリストは、高齢者施設の従事者や保育士などさまざまです。「福祉といっても異なる職種の方達でしたが、皆同じような悩みを抱えていて、悩んでいるのは私だけではない。頑張らなきゃ。」と樋川さんは感じたそうです。同時に、対人間の難しさ、人と接する仕事だからこそ答えはないと再確認したといいます。

## 経験して見えた「これからの福祉」

ファイナリストや参加した学生達との意見交換も含め、いい経験ができた振り返る樋川さん。山梨初のファイナリストに進出した快挙に取材が殺到し、声をかけられたり、出店依頼が舞い込んだり、その影響に驚いているそうです。今後は、「もう一歩先の場所で出店できたらと思っています。地域の方だけでなく、行った場所で利用者さんがお客様と関わり、障がいがあっても社会に進出していけるということをアピールしたいと思います。」と樋川さんは言います。また、『就労支援施設をメジャーに』『障がい者支援の仕事をもメジャーに』したいと話してくれました。

最後に「キッチンカーには、『人と人がやさしく支えあう地域共生社会』になって欲しいという思いが込められています。『困りごとや生きづらさを抱えている人が生きやすい社会』、『出会った人が障がいのある人でも“そうなんだ”で終わる社会』、『障がいがある人もどんどん社会に出て普通に生活ができる社会』、そんな社会になって欲しいですね。」と、樋川さんの中には創りたい未来の福祉の世界がありました。

カフェで働きたいとここでお世話になっています。接客もクッキー作りも好き。調理をもっともっとやっていきたいと思っています。

塩沢豊さん



利用者さん voice01

お客様が食べているとき、笑顔が見られることが嬉しいです。今は接客が中心ですが、今後は調理も覚えていきたいと思っています。

利用者さん voice02



一ノ瀬径子さん

調理師免許を活かし、仕込みも担当しています。樋川さんは美人で頼れる存在。キッチンカーでいろいろな場所に出向き、私の作ったメニューを食べてほしいです。

田中裕さん



利用者さん voice03

キッチンカー情報

住所 甲府市中村町10-22  
和告学園駐車場  
営業時間 11:45頃～14:00  
定休日 不定休  
※お休み等はInstagram  
[cafevillage10]を確認  
またはお電話でお問い合わせください。

DATA

障がい者就労継続支援B型事業所  
「和告学園」

障がい者就労継続支援B型事業所  
甲府市中村町10-22  
055-236-9881  
<https://wakouelfare.or.jp/wakougakuen/>  
社会福祉HERO'Sのプレゼンの様子はこちらから  
<https://www.youtube.com/watch?v=1PS8Mzhtps>



# 「山梨県福祉人材センターってどんなところ？」

山梨県福祉人材センターは、福祉分野専門の無料職業紹介所です。福祉のお仕事を探している方と福祉の職場を結ぶ“かけ橋”として、就職相談や就職のあっせんを行っています。また、県内の福祉施設や事業所が一堂に集まり、就職相談・職場説明を行う「就職総合フェア」を開催しています。福祉のお仕事をお探しの方や興味・関心がある方は、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



## 福祉の仕事「就職総合フェア」の開催

今年度は、8月1日に県立図書館において、対面式の就職総合フェアを開催します。

詳しい日程や参加施設・事業所の情報は、人材センターのホームページに掲載していますので、ご覧ください。ご参加お待ちしております。



学生・一般  
OK!



人材センターURL

## 福祉・介護・保育の魅力を YouTube で配信中！

高校生・大学生に向けて「福祉の仕事」の魅力を伝える「福祉の仕事セミナー」を開催しています。セミナーでは、高齢・障害・保育施設で働く職員さんのインタビューや仕事の様子を動画配信しています。ぜひご覧ください。



動画掲載URL

ぜひご視聴  
ください！

## 「福祉のお仕事」Webサイト 令和4年4月にリニューアル

求人情報をはじめ、福祉の仕事や資格、就職イベント情報など、福祉の仕事に関わる多様な情報をわかりやすく発信しています。

また、山梨県福祉人材センターの仕事の様子を詳しく紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。



人材センターに  
行ってみたURL



山梨県福祉人材センター  
公式LINEでは  
様々な情報を配信中です！  
友だち登録お願いします！



問い合わせ先

山梨県福祉人材センター  
TEL:055-254-8654

START!!

第3次 山梨県社会福祉協議会

# 「強化発展計画」

山梨県社会福祉協議会では、このたび令和4年度から令和8年度までの新たな行動計画として「第3次山梨県社会福祉協議会強化発展計画」を策定しました。これまでの経営理念と経営方針を継承しながら、地域共生社会の実現や今日的な福祉課題に対応するための新しい基本目標を立て、複雑で多様な福祉課題の解決や災害対応などへ一体的に取り組みます。

## 経営理念

人と人が支えあい、認めあいながら、だれもがその人らしく地域で安心して生活できる、福祉文化の創造をめざします。

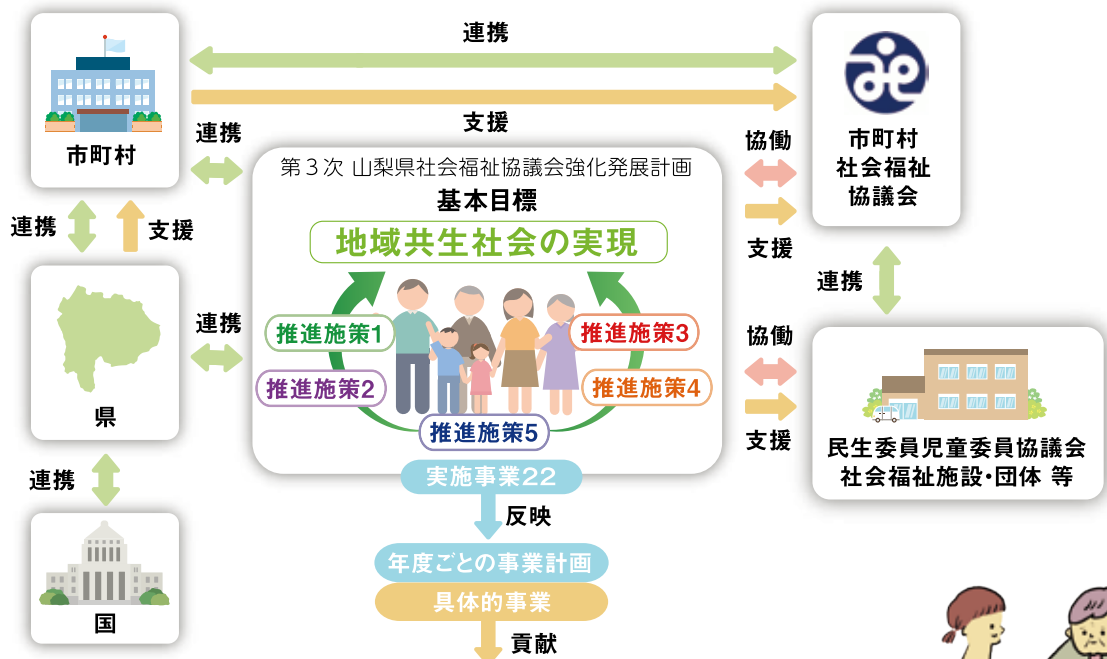
## 経営方針

- ① 県民が主体となる山梨発の福祉文化の創造
- ② だれもが必要な時に必要な福祉サービスを適切に利用できる福祉社会の構築のための関係機関との協働
- ③ 福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保



## 基本目標

だれもがつながり、ともに支え合い、すべての人々が安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指す





# 「基本目標」を達成するための5つの「推進施策」



推進施策

01

## だれもがつながり、支え合う体制づくり

相談場所や相談相手がわからず、自ら声をあげることができずにいる人など、社会的孤立の状態にある人々を見過ごすことなく支援するためには、身近な地域において、住民や民生委員・児童委員、社会福祉関係者などが連携し、サロン活動や見守り活動を通じ、当事者の潜在的なニーズを発見したり、相談しやすい場をつくる必要があります。

このため、市町村社会福祉協議会が行う住民の身近な地域における支え合い、助け合いの体制づくりを支援するとともに、社会福祉法人等が地域において行う様々な公益的な取り組みを支援します。

推進施策

02

## 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり

8050問題やひきこもり、ダブルケアのように複雑化・複合化した福祉課題の解決を図るためには、関係する様々な相談・支援機関が情報共有・役割分担を図りながら、連携・協働する包括的な支援体制を構築する必要があります。

このため、市町村における包括的なネットワークづくりを支援するとともに、相談・支援体制の充実を図ります。

推進施策

03

## 地域福祉を支える人づくり

慢性的な福祉・介護人材不足を解消するため、求職者と求人施設のマッチングを一層強化するとともに、若年から中高年までの幅広い世代や他業種からの人材参入を促すための、修学資金や就労の準備に必要な資金の貸付事業を行います。

また、福祉・介護職員の雇用状況と課題を分析し、人材の定着や働きやすい職場づくりの支援や、外国人材の活用について情報収集及び提供を進めます。

さらに、施設経営に関する相談事業や、施設管理者並びに職員を対象とした研修の充実努めます。

推進施策

04

## 災害に備える体制づくり

近年、自然災害が広域的に多発する中、本県においても大規模自然災害の発生リスクが高まっていることから、県・市町村との連携のもと、各社会福祉協議会や福祉関係者、関係組織が協働し、被災者支援にあたる広域支援体制の充実が求められています。

こうした状況下に加え、コロナ禍が重なったため、災害時の支援体制・対応内容に感染症対策を含める必要があります。

このため、平常時から災害時を想定し、行政、県・市町村社会福祉協議会、災害福祉支援に関わる関係者等が連携し、感染対策を踏まえた防災体制（ネットワーク、支援体制）の構築・強化に取り組みます。

推進施策

05

## 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化

本会が、市町村社会福祉協議会の行う地域福祉活動や、社会福祉法人が行う公益活動を継続的に支援するためには、支援にあたる職員の専門性や、市町村間の広域的な連絡・調整機能、国・県の施策動向や先進事例の情報収集機能を高めることが必要です。

このため、自主財源の確保やコスト削減により財政基盤を強化するとともに、研修制度を充実し、人材育成に努め、地域福祉を推進する組織体制の強化に取り組みます。

# 「事業計画」

前ページで紹介した、「第3次山梨県社会福祉協議会強化発展計画」5つの推進施策に基づき、次のとおり令和4年度事業を展開していきます。

推進施策

01

実施事業 01

市町村社会福祉協議会が行う住民の身近な地域における「支え合い」「助け合い」のための体制づくりへの支援

- 1 地域福祉推進事業
- 2 山梨県ボランティア・NPOセンターの共同運営
- 3 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）
- 4 市町村社会福祉協議会支援事業
- 5 関東甲信越静岡ブロック都県・指定都市社会福祉協議会組織ボランティア業務担当部・課長会議

実施事業 03

地域の支え合い活動及び活動に参加するきっかけとなる場づくりへの支援

- 1 長寿やまなし振興事業
- 2 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）（※再掲）
- 3 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会議の開催

実施事業 02

社会福祉法人が行う公益的な取り組み及びセーフティネットの拡充への取り組み促進

- 1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）（※再掲）
- 2 社会福祉法人等の公益的な取り組みへの支援

実施事業 04

コロナ禍においても、つながり続ける取り組みへの支援

- 1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）（※再掲）
- 2 市町村社会福祉協議会支援事業



## だれもがつながり、支え合う体制づくり

推進施策

02

実施事業 01

市町村の包括的支援体制づくりにおける市町村社会福祉協議会の取り組みへの支援

- 1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）（※再掲）
- 2 市町村社会福祉協議会支援事業（※再掲）

実施事業 03

個人や地域が抱える複雑で多様な福祉課題の解決のための市町村における行政、福祉専門機関、NPO、ボランティア、企業、住民組織等によるネットワークづくりへの支援

- 1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業（地域支え合いプロジェクト）（※再掲）
- 2 山梨ともしび基金助成事業の実施
- 3 山梨善意銀行の運営
- 4 福祉活動支援事業

実施事業 02

コロナ禍の影響を受けた人々に対する相談・支援体制の強化

- 1 相談貸付事業
- 2 生活困窮者自立支援事業（町村部）
- 3 日常生活自立支援事業
- 4 1～3の事業間の連絡・連携強化

実施事業 04

各種別協議会（高齢・障害・児童分野）への支援を通じた、様々な地域福祉活動の活性化

- 1 各種別協議会の事務局運営支援と協働事業実施

実施事業 05

利用者の立場に立った福祉サービスの質の向上

- 1 福祉サービス第三者評価事業の実施
- 2 福祉サービス苦情解決事業の実施
- 3 地域密着型サービス外部評価事業の実施



## 多様な組織が連携・協働する支援体制づくり



03

実施事業 01

## 地域福祉を支える人づくり



### 福祉・介護サービスに携わる人材の確保とすそ野の拡大

- 1 福祉・介護・保育に関する相談・就業促進事業
- 2 福祉・介護・保育に関する理解促進事業
- 3 福祉・介護・保育に関する魅力発信事業
- 4 介護人材の確保に係る貸付事業
- 5 保育人材の確保に係る貸付事業
- 6 介護等体験受入調整事業

実施事業 02

### 福祉・介護職員の定着支援

- 1 福祉・介護・保育分野への定着支援事業
- 2 保育人材の定着に係る貸付事業
- 3 退職手当等共済事業
- 4 福利厚生センター事業

実施事業 03

### 健全な施設運営と働きやすい職場づくりを推進するための福祉・介護サービスの運営支援

- 1 福祉・介護・保育施設運営支援事業
- 2 保育人材の確保に係る貸付事業
- 3 福祉施設経営指導事業

実施事業 04

### 福祉・介護職員を支援するための現場ニーズに応じたオンラインを活用した新たなスタイルによる研修

- 1 福祉・介護職員を対象とした専門的な知識・技術研修
- 2 山梨県立介護実習普及センターの運営(指定管理事業)
- 3 現場のニーズに応じた自主研修事業
- 4 新たなスタイルでの研修の検討・実施

実施事業 05

### 地域福祉への理解・参加促進

- 1 山梨県立介護実習普及センターの運営(指定管理事業)
- 2 山梨県社会福祉大会の開催
- 3 共同募金活動への協力



04

## 災害に備える体制づくり

実施事業 01

### 山梨県災害救援ボランティア本部機能の強化及び市町村社会福祉協議会における災害対応の取り組みへの支援

- 1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時福祉支援プロジェクト)
- 2 やまなし福祉救援活動推進員研修会
- 3 山梨県災害救援ボランティア本部機能の強化

実施事業 02

### 関係者と連携したネットワークの組織化による災害時の広域支援体制の構築及び協議・検討する場の整備

- 1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時福祉支援プロジェクト)(※再掲)

実施事業 03

### 福祉関係者と連携・協働した様々な感染症に対応した災害支援体制づくり

- 1 やまなし地域支え合いコミュニティ再生推進事業(災害時福祉支援プロジェクト)(※再掲)

05

## 県社会福祉協議会の組織・基盤の充実強化

実施事業 01

### 人材育成・事務局体制の強化

- 1 職員研修の充実
- 2 資格取得推進事業
- 3 事業継続計画(BCP)策定・運用



実施事業 02

### 継続的な組織運営に必要な財源の確保・コスト削減の推進

- 1 会費・寄付金等の財源の確保・充実
- 2 経常経費の支出削減

実施事業 04

### 職員が働きがいのある魅力的な職場づくり

- 1 職員の働きやすい制度・職場環境の充実
- 2 職員提案事業

実施事業 03

### 戦略的情報発信の強化

- 1 広報メディアの効率的な活用促進
- 2 ホームページとSNSの連携による情報発信の強化

実施事業 05

### ICT環境の整備・強化を通じた業務の効率化の推進

- 1 ICT機器の検討・整備
- 2 職員のICTスキルアップ研修

# 介護実習情報

Nursing Practice Information

受講料無料



令和4年度 山梨県立介護実習普及センター

## 介護講座(7月～9月)のご案内

対象者:高齢者介護をしている家族者や介護に関心のある方など、どなたでも受講できます。  
会場:山梨県福祉プラザ1階 介護実習普及センター・介護実習室

### 認知症について学ぶ講座

認知症サポーター養成講座

同じ内容を2回開催

開催予定日/7月20日(水)・  
9月21日(水)

時間/10:00～12:00  
定員/各30名

### 福祉用具を体験する講座

福祉用具展示室 見学・

体験ツアー 同じ内容を2回開催  
定員/各30名

開催予定日/7月8日(金)  
時間/10:00～11:30

開催予定日/9月7日(水)  
時間/13:30～15:00

### テーマごとに学ぶ講座

★家で迎える終末期について考える

オンライン配信も行います

開催予定日/7月7日(木)  
時間/13:30～15:30 定員/30名

快適排泄のポイント

開催予定日/7月11日(月)  
時間/9:30～12:30 定員/30名

本人の力を引き出す介助の方法  
(寝返り、起き上がり、移乗等)

開催予定日/7月15日(金)  
時間/9:30～12:30 定員/30名

口からはじめる健康づくり(口腔ケア)

開催予定日/8月25日(木)  
時間/9:30～12:30 定員/30名

介護者のリフレッシュ法  
～こころの話とヨガ～

開催予定日/9月14日(水)  
時間/9:30～12:30  
定員/30名

安心・安全入浴法  
(シャワー浴、部分浴)

開催予定日/9月27日(火)  
時間/9:30～12:30  
定員/30名



## 出前介護講座

対象者:5名以上の団体・グループであれば、どなたでも受講できます。

会場:お近くの会場まで出張します!(介護実習普及センターを会場とすることもできます※1)

■入門介護講座(高齢者疑似体験)

時間/90分～150分

■福祉用具体験講座

時間/90分

■1日介護技術講座

時間/120分～240分

■介護保険制度の仕組みとサービス

時間/90分

■リクエスト講座 ※2

時間/60分～90分

開催日をご相談ください(要日程調整)

認知症サポーター養成講座(対象者に合わせた内容で講座を開催します)

■一般県民向け

時間/90分

■小中学生向け

時間/90分

■従業員向け(店舗や窓口業務をされている方など)

時間/90分～120分

開催日をご相談ください(要日程調整)

### 認知症に関する講座

■認知症疑似体験 ■認知症家族介護者講座

時間/各60分～90分

開催日をご相談ください(要日程調整)



問い合わせ・お申し込み先

介護実習普及センター

TEL 055-254-8680

ホームページからお申し込みできます。



※1 介護実習普及センターで開催する場合の定員は20名～30名です。  
※2 内容によってはお引き受けできないことがあります。  
◎各講座とも、新型コロナウイルス感染症の影響等により中止にさせていただきます場合があります。その場合は、ホームページやフェイスブック、インスタグラムでお知らせするとともに、受講申込者に連絡します。  
受講希望者の方には大変ご不便をおかけしますが、皆様の安全確保と感染拡大防止を考慮した対応ですので、ご理解をお願いします。

イラスト:ドバシ アヤカ

「福祉人材センター紹介」

「強化発展計画」

「事業計画」

「介護実習情報」



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料（1名あたり）** 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

商品パンフレットは  
**コチラ**



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆**年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。**  
例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
〈保険会社〉

TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

## NEWS

## 善意をありがとう Thank you for your good will.

KDDI様  
山梨ともしび基金へのご寄付

KDDI株式会社(土橋明南 関東総支社長)様より、山梨ともしび基金へ2020年度にKDDI社員様が行った社会貢献活動(KDDI+αプロジェクト)のポイントを金額換算した118,500円をご寄付いただきました。

いただきましたご寄付は民間福祉活動の助成を行う「山梨ともしび基金」で大切に活用させていただきます。ありがとうございます。

山梨中央銀行様  
使用済み切手のご寄付

山梨中央銀行職員組合(奈良博之中央執行委員長)様より、使用済み切手6.1kgのご寄付をいただきました。

同組合では、社会貢献として平成10年から同様の寄付をいただき、今年度で24回目、合計182.6kgとなりました。使用済み切手は、福祉施設へ送られ換金された後、フィリピンの子供たちへ中古衣類を送る活動資金などに役立てられています。ありがとうございます。

山梨トヨタ様  
車椅子の寄贈

山梨トヨタ自動車株式会社(高原健取締役総務部長)様と山梨トヨタ会(辻一仁理事長)様より、車椅子10台を県内8か所の福祉施設に寄贈いただきました。

車椅子は、地域貢献活動の一環として、同社社員や家族が収集した空き缶等を換金した収益と、同社からの寄附金を併せて購入し寄贈いただきました。ありがとうございました。

第一生命労働組合様  
車椅子、大判タオルの寄贈

第一生命労働組合甲府営業職支部(西面和真委員長)様、甲府内勤職支部(藤田さや香委員長)様より、車椅子16台と大判タオル160枚を県内8か所の福祉施設に寄贈いただきました。

昭和55年から続くDCR活動(Daiichi Community Relationship)の活動の一環として、平成15年から今回で18回目、車椅子226台、98施設への寄贈となりました。ありがとうございます。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、贈呈式は行いませんでした。



## JAIFA様 児童福祉活動のための寄付金

JAIFA山梨県協会(公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会山梨県協会 小石光徳会長)様より、10万円のご寄付をいただきました。

JAIFA山梨県協会では、生命保険営業職が1日10円の募金を行う「愛のドリーム募金」を継続的社会的貢献活動に位置づけ、積みたてられた募金です。

お預かりしました寄付金は、児童福祉活動のために活用させていただきます。ありがとうございます。



## 山梨ヤクルト販売様 寄付金のご寄贈

山梨ヤクルト販売株式会社(上田文彦代表取締役社長・写真左)様から、地域福祉活動や災害支援活動に役立てて欲しいと、100,000円のご寄付を本会の中山吉幸事務局長に贈呈いただきました。

平成2年度よりいただいている同社からのご寄付は、累計で11,317,730円となります。ありがとうございます。



## 読者アンケートのお願い

今後の広報誌づくりの参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。

QRコードよりご回答ください。



広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版をご覧いただけます。バックナンバーの閲覧もできますので、ぜひご活用ください。

<http://www.y-fukushi.or.jp>

ここからチェック!!

お知らせ  
Notice

今年度より、やまなしの福祉は年4回の発行とさせていただきます。次号は9月末発行予定です。

## ご利用している福祉サービスについて

「こうしてほしい」

と思っていないませんか?

「なおしてほしい」

と望んでいませんか?

山梨県福祉サービス運営適正化委員会が疑問・要望などのご相談に応じます。

## 山梨県福祉サービス運営適正化委員会

住所 甲府市北新1-2-12 県福祉プラザ4階

受付時間 平日 午前8時30分～午後5時15分

電話 055-220-3030

この広報誌の作成費用の一部に赤い羽根共同募金配分金を充てています。

